

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日		記入者	逸見 智弘	連絡先	756-0290
平成18年度部名	教育総務部		課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
平成19年度部名	教育局		課名	総合学習センター	課長名	木下 英雄
事務事業名	教材作成事業					
予算上の事務事業名	副読本等発行費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要						
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分				5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)	
小・中学校用副読本を編集、発行し児童・生徒の学習に役立てる。					小・中学校児童・生徒	
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。						
小学校社会科副読本「さがみはら」	平成19年3月発行	7,500部				
中学校社会科副読本「私たちの相模原」	平成19年3月発行	7,200部				
防災教育副読本小低学年用	平成19年3月発行	7,000部				
防災教育副読本小高学年用	平成19年3月発行	6,700部				
防災教育副読本中学校用	平成19年3月発行	6,700部				
性教育読本「さわやか」	平成19年3月発行	4,500部				
中学校版情報教育の手引きマイITブック	平成19年3月発行	7,600部				
情報安全モラルハンドブック	平成19年3月発行	4,000部				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	11,636	11,657	13,848	13,219	13,219	
一般財源	11,139	11,147	13,488	12,859	12,859	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	497	510	360	360	360	
人件費の合計	4,160	4,160	4,800	4,160	4,160	
事業コスト合計	15,796	15,817	18,648	17,379	17,379	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	副読本作成			対象名称と単位	作成本数 (種類)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	15,796	15,817	18,648	17,379	17,379	
対象数	7	7	8	7	7	
単位あたり経費(円)	2,256,571	2,259,571	2,331,000	2,482,714	2,482,714	
前年度比		1.00	1.03	1.07	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの						

指標名と単位	年次改訂（作成）本数 (本)	指標式と 指標の説明	年度につき1回		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	7.0	7.0	8.0		
目標	7.0	7.0	8.0	0.0	0.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	配布学校率(%)	指標式と 指標の説明	配布目標学校数÷配布学校数 3月末に、翌年度の新学年児童・生徒分を配布		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	82.0	99.0	111.0		
目標	82.0	99.0	111.0	0.0	0.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・小学校社会科副読本「さがみはら」、中学校社会科副読本「私たちの相模原」は、津久井4町との合併に伴い2年をかけて全面改定を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
・中学校社会科副読本「私たちの相模原」は、本市ガイドブックとして市民からのニーズも多いので、関係各課と連携して改訂を進めていく。			・「さわやか」「マイITブック」については、より専門の見地から内容を検討する必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		・津久井地域との合併に伴い、新市のよさや一体感をだせるような副読本づくりが必要となる。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			